

【楽しみはゲーム・ミステリ・ビートルズ 漫画も加わり百花繚乱】



40年近い付き合いのゲーム仲間が作成したカードゲーム「アップ&ダウン」がアマゾンで買えるようになった。手数料が高いようで価格もアップしてる。とは言え応援しようと早速購入。

7月16日(火)ジョークサロン郵鳥・芝崎さんと田園調布でシニア女性たちにそのゲームを紹介して遊んだ。

ゲームレビューをアマゾンに送ったらサクラと見なされずしっかり上位レビューとして掲載されている。レビューを読んで一人でも多く、買って楽しんでくれる人が出てくれば嬉しい。

上位レビュー、対象国：日本

野本浩一

★★★★★ 大人数で楽しめますは
2024年7月16日に日本でレビュー済み
Amazonで購入

シニア向けに行っているゲーム講習ボランティアで早速披露させて頂きました。説明役のわたしを含めて9名で遊んでみました。人数が7人以上でも楽しめます。ワイワイ賑やかにオシャベリしながら勝ち残るのは・・・？ スリリングな展開になります。名前の通り、数字がアップしたり、ダウンしたり。エンジョイしました。

本棚に十数年積ん読状態だったチャンドラーの「大いなる眠り」と「ロング・グッドバイ」を読んでみようと思いついた。村上春樹訳という触れ込みで話題になった時、早川書房の社長さんから寄贈された本である。ほんに長い間読まずにいたなあ、「社長ありがとうございます」と神田多町に向かって礼を言って、私立探偵フィリップ・マーロウと再会した。



「タフでなければ生きて行けない。優しくなければ生きていく資格がない」とマーロウは名言を吐いたんだよなあ、と思い出しつつ春樹さんの訳を楽しんでいたら、何とまあ面白いことが起こった。

奥方が逗子在住の友人と会食した際に MARLOWE® 逗子駅前店の BISCOTTI をお土産に頂いたのだ。不思議な遭遇があるものですねえ。

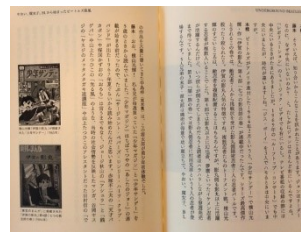


最近読んだ「アンダーグラウンド・ビートルズ」にビートルズがアメリカに進出した1964年2月頃に、「少年サンデー」で横山光輝・作「伊賀の影丸」第4部「七つの影法師」が連載中とあった。

ラインで横山光輝が好きと書いていた会社の後輩に「伊賀の影丸第4部持っているかい？」と訊ねると「全巻揃ってますよ！」と嬉しい返事が来た。

という次第でランチミーティングをして借りることにした。なんとなんと第4部とおまけに第2部「由井正雪」を持ってきてくれた。堪能しました。

ビートルズを読んで伊賀の影丸を読みたくなり、原作愛蔵版にたどり着くとはこれも嬉しい偶然。忍法『以心伝心』と『ライン渡り』の術を駆使して入手・熟読に至ったような気がしている。



楽しみはアップ&ダウンを披露して 好評を得てレビュー書く時
マーロウはタバコも酒もたしなんで お菓子も好きな男なのかも
楽しみはタフで優しく生きながら 美味しいスイーツ口にするとき
ビートルズアメリカデビューのその頃に 活躍してた伊賀の影丸

お写落日記 ホイホイ補遺

その1 スイーツショップ MARLOWE® の パッケージカバーの文句

I never saw any of them again — except the cops.

No way has yet been invented to say good-bye to them. —Philip Marlowe

これは、The Long Goodbye (1954) の最後の二行。文庫本、村上春樹本の訳は以下の通り。

私はその後、事件に関係があった人間の誰とも会っていない。ただ、警官だけはべつだった。警官にさよならをいう方法はいまだに発見されていない。

清水俊二 訳 「長いお別れ」

そのあと、事件に関係した人間には誰にも会っていない。警官は別だ。警官にさよならを言う方法はまだみつかっていない。

村上春樹 訳 「ロング・グッドバイ」

その他の マーロウシリーズで出てきたレイモンド・チャンドラーの名言から

If I wasn't hard, I wouldn't be alive. If I couldn't ever be gentle, I wouldn't deserve to be alive.

タフでなければ生きて行けない。優しくなれなければ生きている資格がない。

Alcohol is like love. The first kiss is magic, the second is intimate, the third is routine.

After that you take the girl's clothes off.

アルコールは恋に似ている。最初のキスは魔法のようだ。二度目で心を通わせる。そして三度目は決まりごとになる。あとはただ相手の服を脱がせるだけだ。

There is no bad whiskey. There are only some whiskeys that aren't as good as others.

悪いウイスキーというものは存在しない。ただ他のウイスキーよりも味の劣るウイスキーがあるだけだ。

その2 『伊賀の影丸』 メモ (by ウキペディア)

横山光輝 作。江戸時代を舞台に、忍者影丸の活躍を描く。

1961年(昭和36年)から1966年(昭和41年)まで『週刊少年サンデー』に連載された。主人公の影丸は江戸幕府の隠密で、伊賀流の忍者。彼は服部半蔵の命を受けて日本各地に赴き、徳川家に敵対する勢力と戦う。

本編は9編、番外編は3編がある。

黒装束に鎖帷子を着るといった忍者の視覚的イメージを確立した漫画である。本作においては忍術合戦が話の中心となり、その上で複数対複数の駒取り合戦のような形式を取ることで子供の読者の心をつかみ成功を収めた。これは本作以前に人気のあった山田風太郎の小説『忍法帖シリーズ』の影響が大きく(特に甲賀七人衆など、能力などが小説そのままのものもある)子供向けに翻案したような印象もある。だが、本作のヒットを受け『鉄腕アトム』の「地上最大のロボット編」や『サイボーグ009』など人気作が生まれたのを皮切りに、現在でもどの少年向け漫画雑誌にもみられるような、「それぞれ固有の特殊能力をもった者たちが敵味方入り乱れて闘う」という一つのスタンダードを漫画媒体に取り入れた、その先駆けがであるともいえる。本作での忍者の多くは基本的に人間の姿をしているが、後の『仮面ライダー』における仮面ライダーやショッカーの改造人間のように特殊な能力を持った、超人的な存在として描かれている。同時に、忍者は忍法で戦い合う者という、史実的には間違った認識を子供たちに与える一端となるなど、その影響力は大きかった。(後略)